

特別展

家元に伝わる茶の湯の道具（二）

表千家歴代ゆかりの棚と水指展

平成二十六年十月五日（日）～十一月三十日（日）

一部展示道具を入れ替える場合がありますので、  
予めご了承ください。  
展示室での写真撮影は、ご遠慮ください。

表千家北山会館

◎ 二階展示室

水指	江岑宗左好 朱手桶水指写 春齋作	
棚	江岑宗左好 四方棚 随流齋・碌々齋在判	碌々齋箱
掛物	元伯宗旦好 爪紅及台子	
掛物	元伯宗旦筆画賛 忍達磨	而妙齋箱
水指	元伯宗旦所持 菊置上げ 木地 曲 了々齋直書	了々齋箱
棚	少庵所持 木地曲 元伯宗旦・随流齋直書 如心齋添状あり	啐啄齋箱
水指	利休形 丸卓	覚々齋・啐啄齋箱
掛物	利休所持 瀬戸 捻貫	如心齋・了々齋箱
掛物	堂本印象筆 利休居士画像写 即中齋筆 賛語写	即中齋箱
水指	真塗手桶水指 記三作 利休添状あり	即中齋箱
棚	利休所持 南蛮	元伯宗旦・覚々齋・即中齋箱
掛物	江岑宗左好 三木町棚 如心齋直書	
掛物	覚々齋好 桐 江岑棚 覚々齋直書	如心齋箱
水指	随流齋筆 一切茶の湯の道	
水指	信楽焼 随流齋銘 福聚海	随流齋・吸江齋箱
切形	備前 覚々齋銘 カキカラ 覚々齋添状あり	覚々齋箱
	随流齋作 利休所持 瀬戸捻貫水指切形	
干支水指		
子	祥瑞写 十二支 永樂即全造 (昭和三十五年)	即中齋箱
丑	松竹梅 槌形 永樂即全造 (昭和四十七年)	而妙齋箱
寅	即中齋好 金欄手 梅ノ絵手桶 永樂即全造 (昭和三十六年)	即中齋箱
卯	交趾 寅 永樂善五郎造 (平成二十二年)	而妙齋箱
辰	竹生島 永樂善五郎造 (平成二十三年)	而妙齋箱
巳	龍爪七宝 永樂善五郎造 (平成二十四年)	而妙齋箱
午	宝尽彫 青釉 巳玉 永樂即全造 (平成元年)	而妙齋箱
未	笹二春駒 永樂善五郎造 (平成二十六年)	而妙齋箱
	吉羊 永樂即全造 (平成三年)	而妙齋箱

◎ 三階展示室

申 交趾 申 永樂善五郎造 蓋 中村宗哲作 (平成十六年) 而妙齋箱  
 酉 交趾 鷄籠 永樂即全造 (昭和四十四年) 而妙齋箱  
 戌 雪ダルマ 永樂即全造 (平成六年) 而妙齋箱  
 亥 金欄手 猪目 松竹梅 永樂善五郎造 (平成十九年) 而妙齋箱

竹台子一つ飾り

竹台子 / 如心齋好 累座富士釜 / 唐金鳳凰風炉  
 如心齋好 梔子水指 樂左入作 如心齋箱 / 如心齋好 アコタ茶器 碌々齋在判  
 掛物 如心齋筆 花月 如心齋・啐啄齋箱  
 水指 備前 如心齋銘 玉柏 了々齋箱

棚 覺々齋好 渦唐銅 大西五兵衛作 了々齋箱  
 朝日焼 細 如心齋銘 養老 碌々齋箱  
 久田宗全好 三重棚 飛来一閑作 惺齋箱  
 覺々齋好 桐三重棚 如心齋箱

不審菴(模型)内

掛物 如心齋筆 菊画賛 南山のみてこそあそへ 菊の酒 了々齋箱 展示期間 10 / 5 - 11 / 3  
 如心齋筆 大根画賛 雪霜に身を温めて 大根は千歳を延ふる 葉なりけり 了々齋箱 展示期間 11 / 5 - 11 / 30  
 水指 瀬戸 了々齋銘 朝暮 了々齋箱 展示期間 10 / 5 - 11 / 3  
 信楽 鬼桶 了々齋箱 展示期間 11 / 5 - 11 / 30

掛物 啐啄齋筆 橋の画賛 人従橋上過 橋流水不流 了々齋箱  
 水指 丹波 啐啄齋銘 古狸 啐啄齋直書 了々齋箱  
 朝鮮平 啐啄齋好 立浪蒔絵割蓋 啐啄齋・了々齋箱

棚 啐啄齋好 溜塗丸卓 啐啄齋在判 春齋作 了々齋箱  
 了々齋好 青漆爪紅長板 了々齋箱

